

はじめに

1 まずはかゆみを知ろう!
目次へ戻る

2 かゆみを採点しよう!
目次へ戻る

3 かゆみをやっつけよう!
目次へ戻る

このページを印刷する (PDF:130KB)

③ かゆみをやっつけよう

(1) 強いかゆみがある時の外用療法 (ステロイド外用薬やプロトピック軟膏を中心にしましょう)

2. 強いかゆみがある時の注意事項

いつもの掻き傷^{かきず}だけでなく、すぐジュクジュクしていたり、水ぶくれ^{みずぶくれ}があったり、膿^{うみ}がでていたり、いたみ^{いたみ}がでてきた場合には、細菌^{さいきん}やウイルス^{かんせん}が感染^{ひふえん}していることがあります。このような場合には、皮膚炎^{ちりょう}の治療^{かんせんしやう}に加えて感染症^{かんせんしやう}の治療^{かんせんしやう}が必要です。すぐに主治医^{しゅじい}に相談^{しゆじい}してください。

バリア機能^{きののう}が弱まると、皮膚^{きのう}に細菌^{さいきん}がつきやすくなります。かゆみ^{かゆみ}が強いときは、1日に2回はシャワー^{あせ}を浴びて、汗^{あせ}やよごれ^{あせ}を落としましょう。ただし、石ケン^{いしけん}の使用^{いしけん}は1日1回^{いしけん}だけにしてください。

いつまでもかゆくて夜眠^{ねむ}れないとか、ジュクジュク^{せいちやうしやうがい}したるがずっと続く^{たんぱくろうしゆつ}場合には、成長障害^{せいちょうしやうがい}や蛋白漏出^{たんぱくろうしゆつ}を起こして危険^{きけん}な場合^{きけん}もあります。入院^{せんもんい}が必要^{じゆしん}かもしれません。急い^{せんもんい}で専門医^{じゆしん}を受診^{じゆしん}してください。



[<< 前のページへ](#)

[次のページへ >>](#)